

〔クロチアニジン・プロベナゾール粒剤〕 農林水産省登録 第21226号

性 状：類白色細粒

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：5 年

包 装：1kg×12

ダントツ® オリゼメート® 10 箱粒剤

有効成分：クロチアニジン……………1.5% プロベナゾール……………10.0%

殺虫剤分類	4A
殺菌剤分類	P2

オリゼメートは登録商標



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報：こちらのQRコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用病虫害名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類 イネドロオウムシ ニカメイチュウ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50g	移植3日前 ～移植当日	本 剤：1回 クロチアニジン：4回 (#1) プロベナゾール：2回 (#2)	育苗箱の苗の上から均一に散布する
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g)			

#1：移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回

#2：移植時までの処理は1回



効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて秤量し、使いきる。
- 育苗箱の苗の上から所定量を均一に散布し、茎葉に付着した薬剤は払い落とし、そのまま田植機にかけて移植する。
- 育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生ずるおそれがあるので、必ず健苗に使用する。
- 処理苗移植の本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意する。
- 処理苗を本田に移植したのちは、そのまま湛水状態 (湛水深3～5cm) を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意する。
- 砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田は使用をさける。
- 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさける。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持する。
- 誤って過剰に使用したり、本剤使用后4日以上移植せずに育苗箱中におくと葉枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初

めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。
作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は、作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
- 夏期高温時の使用をさける。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しない。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

- 害虫といもち病の同時防除ができる稲育苗箱専用殺虫殺菌剤です。
- ダントツは初期害虫のイネミズゾウムシからウンカ・ヨコバイ類まで高い防除効果を示します。
- オリゼメートは植物の病害抵抗性を誘導して高い防除効果を発揮する抵抗性誘導剤で、いもち病菌の稲体への侵入を強く抑制します。